

薬の伝言板 ～目の病気～



No.246 2018年5月
丸子中央病院 薬局

今回は「緑内障」「白内障」「か れ い お う は ん へ ん せい加齢黄斑変性」についてお話したいと思います。

目の構造

【水晶体】

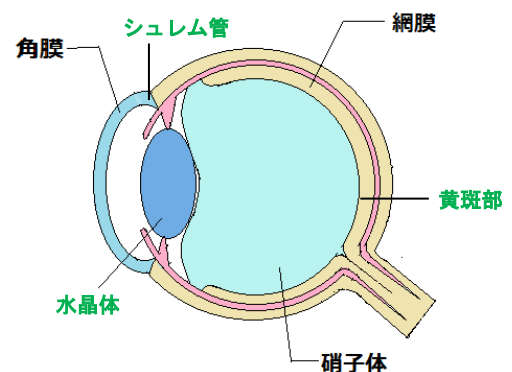
水とたんぱく質からできており、カメラのレンズに相当するものでピントの調節を行なっています。

【シュレム管】

角膜の中は水(房水)で満たされており、眼圧を保っています。余分な房水を排泄する出口にあたります。

【黄斑部】

目の中に入ってきた光を受け取り、その信号を脳に送るために視神経に伝達します。その中心部分が黄斑部です。



緑内障とは

目の硬さである眼圧が上昇することで起こり、原因によって大きく開放隅角緑内障、閉塞隅角緑内障に分けられます。

・開放隅角緑内障

房水の出口であるシュレム管手前のフィルターが徐々に目詰まりし、眼圧が上昇します。

・閉塞隅角緑内障

房水の出口が狭くなり、フィルターがふさがって房水の流れが妨げられ、眼圧が上昇します。

〈症状〉

大きな症状は視野の一部が見えなくなることです。しかし、普段両目を使って見ているために、片方の眼に見えない部分があっても、もう一方の視野がカバーしてしまうので、視野の異常に気づかないことが多いです。

また、頭痛や吐き気、眼痛、充血などの症状も見られます。

〈治療薬〉

商品名	作用
カルテオロール塩酸塩 LA 点眼液 (ミケラン LA) コソプト配合点眼液	房水の産生を抑制する
サンピロ点眼液 タプロス点眼液 ラタノプロスト点眼液(キサラタン)	房水の排泄を促進する

白内障とは

通常、水晶体は透明で、光をよく通します。しかし白内障になると水晶体が白く濁り、光がうまく通過できなくなることで、光が乱反射してしまい視力が低下します。

白内障はさまざまな原因で起こりますが、もっとも多いのは加齢による**老人性白内障**です。

〈症状〉

目がかすむ、まぶしく感じる、明るい所で見えにくい、ぼやけて見える等があります。

〈治療薬〉

商品名	作用
カリーユ二点眼液	水晶体を白く濁りにくくする

※ 現在のところ薬で症状を改善したり、視力を回復したりすることはできません。

白内障が進行し、日常生活に支障をきたすようであれば、手術を行います。

加齢黄斑変性とは

健康な状態では存在しない新生血管と呼ばれる異常な血管から血液が漏れ出し、黄斑部を障害することで、視力や視野が低下する病気です

〈症状〉

視野の中央が見えにくい、ゆがむ、暗く見える等があります。緑内障に比べて視野の中心に異常が出てくるので、症状に気づきやすいです。

〈治療薬〉

商品名	作用
アイリーア硝子体内注射 ルセンチス硝子体内注射	新生血管の増殖を抑制し血液が漏れ出すのを防ぐ

※ 黄斑部の中心から遠い場合は、レーザーによる新生血管を固める手術を行うこともあります。

目薬使用時の注意点

- 目薬は1回に1滴で十分です。それ以上はこぼれてしまいます。
- 複数の点眼薬を使用するときには、5分以上時間をあけて使用しましょう。
- 目薬をさす時、容器の先がまぶたやまつげなどにつかないようにしましょう。
- 目薬をさした後は、しばらくまぶたを閉じるか、目頭を軽く押さえましょう。
 - 目をパチパチさせると目薬が目の表面全体にいきわたるように思いがちですが、目薬がのどの方へ流れ出てしまいます。目薬をさした後は目をパチパチしないようにしましょう。



目の病気には自覚症状のないものもあります。普段目に異常を感じなくても定期的に目の健診を受けるようにしましょう。

